

うらやす地域福祉活動計画Ⅳ（案）に対する意見と浦安市社会福祉協議会及び
うらやす地域福祉活動計画Ⅳ策定委員会の考え

A：意見を受けて加筆・修正したもの

B：案に意見の考え方が含まれていたもの、または今後の取り組みの参考にするもの

C：案に関連する質問などその他のもの

意見延べ件数：41件 意見提出人数：20人（内、意見なしは3人）

※意見シート内で意見が複数ある場合は、それぞれ考えをお伝えいたします。

NO	意見の内容	対応	社会福祉協議会及び策定委員会の考え
1	これからも地域福祉活動に力を注いでいきたい。ちょっとした心遣い が大きな助けになることを知り、この意識を忘れずに実践し、いつかこの活動が自然にできる町になることを望む。	B	基本目標1「お互いを理解し支えあう」及び基本目標2「地域で丸ごとつながる」を意識した地域づくりを市民のみなさんとともに作り上げていきます。
2	遺贈に関して（43ページ） 遺贈は、所得再分配の方法として、国や個人によらない、地域が直接関わることのできる新たな手法として期待されています。高齢者からの信頼が高い、長期に渡ってフォローできる、本人のみならず家族など包括的な支援が可能など、社協は遺贈を受けるに最適な組織と思います。ぜひ積極的に取り組み、遺贈を日本の一つの文化にしてほしいと思います。本活動計画を実行するためには、多額の資金が必要と思います。人の気持ちや繋がりだけでなく、資金を活用して活動を推進するためにも、遺贈への注力を期待しています。	B	基本目標1（2）誰もが参加出来る地域を目指し、遺贈の取組が文化となるような土壌づくりを推進していきます。

3	<p>マイノリティーへの関わりに関して（４６ページ）</p> <p>「お互いを理解し合う」ことが地域福祉の大前提だと思います。みんな違って当たり前なんだ、ということを一人生徒が無理なく感じられる社会を目指した時に、LGBTや外国人問題への取り組みは、非常に大切だと思います。高齢者や障害者の課題と同じレベルで、社協がLGBTや外国人問題に取り組むようになることが、共生社会の第一歩のように思います。LGBTや外国人問題は専門性が高いため、すでにその課題に取り組んでいるNPO等との協業が現実的だと思います。社協でのイベントなどは高齢者・障害者などに特化するのではなく、常にLGBTや外国人問題なども同時に行うことで、「丸ごと」をまずは社協が演出してはどうでしょうか。</p>	B	<p>地域共生社会の実現に向けて、すべての市民がお互いを尊重しあえる意識づくりを推進していきます。</p>
4	<p>空き家問題（３１ページ）</p> <p>「いつまでも住み続け」るのも、「いきいきと暮ら」すのも、浦安に自宅があってはじめて可能です。高齢者人口が増え、高齢化率の高い地域には空き家がどんどん増え続けている現状です。一方、子育て世帯は浦安市に住みたいと思うものの、価格や家賃が高くて浦安市には住めないという声もよく聞きます。高齢化率の高い地域の空き家に、子育て世帯が住むような施策があれば、向こう三軒両隣の関係の中で、高齢世帯・子育て世帯が我が事・丸ごとの地域社会を構築する可能性が高まると思います。</p> <p>地域福祉の柱の一つに、空き家問題の解消を掲げ、不動産業界・建築業界との協業により推進してはどうでしょうか。</p>	B	<p>地域の将来像「いつまでも住み続けたいと思える地域」の実現に向けて、市や関係機関と連携して、より住みやすい住環境を目指していきます。</p>

5	<p>既存の『福祉教育』にとらわれなくて、浦安市や各学校と連携して、小学校、中学校の若い世代に対し教育活動を実施します。地域の子育て支援、児童相談、虐待保護、障がい者支援、高齢者支援の考え方や、それらの浦安市にある具体的な社会資源について年間カリキュラムを作って計画的に教えていきます。他人事ではなく自分のこととして教えていきます。これが、それぞれの立場で悩む人の早期発見ばかりでなく、将来の地域活動を担う人材を育てる方法として、遠いようで最短確実な方法だと思います。教育であれば地域で活躍する誰もがボランティア講師となってくれると思います。</p>	B	<p>基本目標1(2)「誰もが参加出来る地域」の実現を目指して、一人一人が地域活動に参画できる環境づくりを推進していきます。</p>
6	<p>地域活動への参加呼びかけや募集は、できるだけ具体的に細かな役割を明示して募集します。そして実際に参加した人の実例を紹介します。そうすることで何か地域の役に立ちたいが自分に出来るかどうか不安に思っている人が参加しやすくなります。</p>	B	<p>基本目標1(2)「誰もが参加出来る地域」の実現を目指して、一人一人が地域活動に参画できる環境づくりを推進していきます。</p>
7	<p>地域でのコミュニケーション目的の活動や行事は、活発な地域ほど、ともすれば参加しない人を村八分のような扱いにして、より一層孤立化させてしまうリスクが潜んでいます。そういうシャイな住民が多くいることも事実です。そこで、社会福祉協議会などがコミュニティソーシャルワーカーとして、アウトリーチに取り組みます。具体的には行事などへの参加を強制しないで、根気よく声を掛けていくことで、あなたを気にしている人が地域にいることに気付いてもらいます。そしてちょっと動くだけで地域に貢献できることを知ってもらいます。うまくコミュニケーションが取れない人も切り捨てないのが地域福祉やソーシャルワークの基本だと思います。主役は、隙間を埋めようと地道に活動している地域住民や社会福祉協議会の存在だと思います。</p>	B	<p>基本目標2(1)「地域で出来る支え合い」において、地域でコミュニケーションがさらに進むよう、地域全体で推進していきます。</p>

8	<p>ボランティアと言った場合、旧来からある「障がい者」「生活困窮者」支援などに加え、最近では「子供養育」「災害復旧」「地球環境保全」など幅が広がってきており、全体としてはそのような活動が活発になって来ている。また、更に広げれば自治会活動や登下校交通完全活動なども意識・実体としては全くボランティアである。よって、今後はそのような観点での分析や検討が必要と考える。</p> <p>ボランティアに限らないが、その促進には「情報発信」「仕組み作り」も大切であるが、その担い手、特に「発端者」「促進者（リーダー）」となる人の自由で負担の少ない活動環境が求められる。しかし、一方では「仕組み」はともするとそのような自由な活動を阻害する障壁となることもママある。また、一方では活動の場の一つとなる公民館や文化会館等の公共施設利用料は大幅に値上げされ、キャンセル条件なども厳しくなっており、場の提供という面からは全く逆行している。これは役所内での縦割り行政の弊害の現れと思われ、全体としての統一性を望む。</p>	C	参考意見といたします。
9	<p>計画の基本理念、基本目標1・2の文言が優しく大変わかりやすい。幅広い年齢層の多くの方々に自然に受け入れていただけるのではと思う。</p>	B	わかりやすい計画の推進に努めます。
10	<p>○第4章－基本目標2－（1）</p> <p>施策の展開方向（P48）には「社協では、地域住民の気持ちに寄り添い、思いを形にするコーディネート力、地域の生活課題を受けとめ、解決に向けた相談対応力を持つ職員の育成とスキルの向上を図ります。」との記述がありますが、それぞれの役割「社協の支援策」（P49）に具体的な支援が示されていません。</p>	A	<p>基本目標2（3）に記載されている社協の支援策「地域の困りごとを総合的に解決するコミュニティソーシャルワーカーの配置の検討・実施」を具体的な支援策と追記します。</p>

11	<p>○第4章－基本目標2－(3)</p> <p>社協の支援策(P55)に「・ちょっとした相談ができる地域拠点ぽっかぽかの運営」、数値目標(P56)に「地域拠点ぽっかぽかの相談件数」とのみ記述されていますが、拠点数は現状維持で拡充はないという理解でよろしいでしょうか。</p>	B	<p>拠点数は地域の実情に応じて現状維持もしくは拡充していく予定です。</p>
12	<p>ボランティア団体としては主婦主体の団体であるため、ご家族の介護等でおやめになる方も多く、常にメンバー減少の危機感がある。チラシでは伝えきれないことが多く、毎年入門ボランティア講座を開いて会員募集に努めている。昨年は初めて午後毎日仕事のある方が複数加入され、メンバー了解のもと、本来一日仕事の時もお昼で帰っていただくよう試行している。ボランティアの熱意さえあれば、個々のスタイルに細かく対応して、充実した活動ができればと思う。</p> <p>「人様の為になんかお役に立ちたい」という思いの方は少なくなく、市民活動センターのチラシをご覧になった方からのお問い合わせも何件か来る。しかし、「大学の休みの時だけ役に立つことがしたい」「高齢だが元気なので何かお役に」「お子さんが学校に行っている間だけでも何か」「平日仕事だが土日なら」「休日勤務なので水・木限定で」など熱い気持ちをいただきますが、当会は曜日確定、広報の録音日は一日仕事、録音機材、PC操作ありとお伝えするとなかなか入会には至りません。せっかくのお気持ちなのでボランティアセンターの連絡先をお伝えしている。お気持ちと活動のマッチするものが見つかるとうれしいと思っています。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
13	<p>少子・高齢化が増加する中で、いつでも誰もが気軽に安心して相談できる体制づくりをお願いしたい。(離婚して母(父)子家庭となり、子育て、家事、生活等の不安を抱えている方がいる。)</p>	B	<p>基本目標1(3)にて、身近なところで支え合える相談体制づくりを推進していきます。</p>

14	<p>地域の中でも高齢の方が多く、1人世帯、夫婦2人世帯の方が多くなってきているように思います。また、もともと地元の方などは若い方々と子育てに協力しておられる方もいて、外出などがままならないようにも思われる。そこで、自治会館などを日常的に開放して、地域のお茶会ができる場所とはならないでしょうか。ぽっかぽかもありますが、もっと身近であると。お茶、コーヒー、テレビ、そして月1回程イベント等。この先の生き方を考えているところで、無理しない生活や行動、90歳まで元気で外に出られる生活をモットーに会員の方々にお話しをしている。</p>	B	<p>基本目標1(2) 施策の展開方向において、多くの方が参画できる地域の交流の場づくりを推進していきます。</p>
15	<p>地域には自治会・老人会・サロン・公民館活動等いろいろな活動がある。又高齢者の団体として安心マンションライフのサロン活動もある。ただ横のつながりはなく、全体の案内もない。バラバラである。活動状況の案内を一緒にして紹介する冊子があるといいのではないか。</p>	B	<p>基本目標1(1) 様々な媒体を活用した情報発信を行い、横の連携を推進していきます。</p>
16	<p>買い物の不自由な地域もあるので、マーケットに近い所は料金を取って届け、遠いところはサービス枠を拡大する。例えば近くは5000円以上の買い物についてサービスし、遠いところは3000円以上とか差をつけてほしい。</p>	B	<p>基本目標2(1) 事業者・企業の役割としてのCSR・CSVの充実を推進していきます。</p>
17	<p>家庭では賞味期限が過ぎると捨てているが、賞味できるものもあり、又期限が近いもの等そういうものを捨てるかどうか迷い、困っている家庭も多い。それを引き取り、贈呈する場所を作ってもいいのではないか。例えば子ども食堂のようなところ。そうすればより多くの人が参加するのではないか。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
18	<p>70歳まで就労するなら、ボランティアをやめ有償ボランティアにしてボランティアの担い手を育成したほうがいいのではないか。その方が担い手として教育もできるし、意欲も出てくるのではないか。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
19	<p>有償ボランティアが一方であり、無償のボランティアがあることについては何らかの意味付けが必要だし、計画的に継続的に責任を持った活動が両方とも同じレベルで行えるかどうか、疑問である。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>

20	人口は少しずつ増加傾向ではあるが、2024年頃からは減少に移っていくと予想されています。医療の進歩で命は助かったが障がいが残った人や高齢者が一緒に参加できる、生活力が伸びる健康維持を含む体操教室等を企画実施してほしい。これはUセンターは混んでいるとか、体育館は遠くバスの便が少ない等から考え、ちょうど真ん中にある総合福祉センターエリアでの企画がどうか。	C	参考意見といたします。
21	P 31 2計画の基本理念 “いきいき”と“生き生き”使い分けしているのか。表現の統一をした方が良いのでは。	A	ひらがな表記に統一をいたします。
22	P 39～ 第4章のイラストについて堅いイメージを持つ。特にP47のイラストは変更してほしい。	A	やわらかいイラストに変更いたします。
23	P 48 現状と課題 3行目つながりをつく“り”ことが重要。りではなく“る”ではないか。	A	ご指摘の通り修正いたします。
24	P 50画像の説明 支部活動と支部のどちらかに表現統一をした方が良いのでは。	A	「支部」に統一いたします。
25	高齢者が増えてきた今日、このポイントは小さく、文字間隔や行間も詰まっていて読んでいて疲れる。内容が増えて必然的にこのようにしているのかもしれないが、読みやすさも考慮してほしい。	A	可能な範囲で文字調整をいたします。
26	手話言語条例ができたが、それに関連した内容の記載がない。手話奉仕員養成講座やコミュニケーション支援事業をどのように進めていくのか盛り込んでほしい。	C	手話言語条例等具体的な法令の記載は本計画の趣旨（地域の行動計画）と異なるため、記載はいたしません。手話奉仕員養成講座及びコミュニケーション支援事業の展開については、市と協議を進めていきます。

27	<p>P8.今後の展望の中で、「・・・行政のパートナーシップあらゆる生活課題への対応、地域のつながりの再構築が大きな柱となります」とありますが、地域のつながりの再構築に関して、各施策の展開の中で明記されていないように思われますが、具体的には、支部社協の再構築（区域の再編成など）などを考えているのか？現在の名称は東1. 2、南1. 2、西1. 2などで、地域の名前と一致していないので、担当しているエリアが判りづらく支部社協の名称が地域になじんでいないような気がします。</p>	B	参考意見といたします。
28	<p>P40.社協の支援策のなかで、「福祉教育の推進のため・・・、将来の地域福祉活動の担い手を育成」とあるが、支部社協の役員も高齢化している状況で、新しい支部社協推進員、特に役員のみ手確保も重要と考えます。災害ボランティアに登録している方など個人で福祉活動に参加しても良いと考えている方に対して、勧誘できる体制、受付できる体制、相談を受けてマッチングできる体制も必要と考えます。担い手の育成は重要なのでよろしくお願いします。</p>	B	参考意見といたします。
29	<p>P42,43.施策の展開の中で、「居場所づくり・・・」、社協の支援策の中で、「高齢者や子育ての中の方が集える場としてふれあいサロンや子育てサロンを実施する」とあるが、実施できる場所が不足しているように思います。サロンだけでなく、認知症カフェや「ぼっかぽか」などについては公民館や老人クラブなどを積極的に活用できないか検討して下さい。浦安市は公民館や老人クラブ施設が充実しているので利用しないのはもったいないと思います。特に公民館は市職員も常駐しているので、公民館に「ぼっかぽか」を設置したら良いと思います。</p>	B	参考意見といたします。

30	<p>P49.社協の支援策のなかで、「ボランティアをしたいとお考えの方と お願いしたい方をつなぐボランティアセンターの運営」とありますが、 支部社協推進員なども含めて色々な福祉活動についても案内して、担い 手を増やしていければ良いと思います。65から70才の方で、仕事が 一区切りして、まだまだ元気な高齢者の方は、何か手伝っても良いと 思っている方が多いと思いますので、気軽に個人で登録できて、マッチ ングしてもらえる場所があると良いと思います。</p>	B	<p>参考意見といたします。</p>
31	<p>17頁の「2 浦安市の状況」として(1)人口や世帯の状況の①総人 口・世帯数の推移で、「一世帯あたりの人員数は、人口増加率よりも世 帯増加率の方が低いため下降傾向となっており、」とありますが、人口 増加率よりも世帯増加率の方が高いため、人口増加率/世帯増加率で求 められる一世帯あたりの人員数が下降傾向にあるのではないでしょ うか？あるいは、人口増加率と世帯増加率をそれぞれ別個に算出・表示さ れた方がよいと思われます。一世帯あたりの人員数の減少は単純に夫婦 二人だけの世帯が多くなっているのも要因の一つと考えますが、そのほ かに考えられる要因はないでしょうか？現状分析をしっかり行い、問題 を洗い出すことが必要だと思います。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
32	<p>19頁の②合計特殊出生率の推移で、東日本大震災の翌年に大きく下降 したのが気になります。その要因が何であるか、協議会のお考えを示唆 していただければよかったです。液化化などの他に出生率に関わる被害 があったのでしょうか？</p>	C	<p>行政による統計調査のため、本計画においては具体的な回答はい たしません。</p>
33	<p>21頁の(5)地域活動等の状況①自治会加入世帯数・加入率の状況に ついて、年々減少傾向にあります。とくに2015年度には半数を下回っ たのは驚きです。全国あるいは千葉県の平均が分かりませんが、自治会 活動について、もっと周知・徹底・広報が重要と思われます。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>

34	22頁の②ボランティア登録者数（個人・団体）と登録団体数の状況の棒グラフで、一番右の市民活動センター利用登録団体数は2018年度の486から2019年度は0になったのでしょうか？なぜでしょうか？	A	2019年のデータは集計中のため、掲載をしておりません。その旨を追記いたします。
35	23頁の①自殺者数および自殺死亡率で、2017年度に激減し、2018年度に激増しているのが気になります。統計処理上の問題でしょうか？それ以外に要因が考えられますか？	C	行政による統計調査のため、本計画においては具体的な回答はいたしません。
36	24頁の②性別及び年代別自殺者割合で、浦安市において20歳未満、30・40代の割合が千葉県や全国と比べ多いのは、なぜでしょうか？単にこの年齢層が多いからでしょうか？	C	行政による統計調査のため、本計画においては具体的な回答はいたしません。
37	地域の将来像として、「いつまでも住み続けたいと思える地域」は、住み続けたいと思わせる、ここに住んでいて良かったと思える自治体活動を広く進めることが必要かと思えます。そして、計画の基本理念として「みんなでつくる、だれもが安心していきいきと暮らせるまち」市民一人ひとりが、共に支え合い、互いの人権を尊重し、安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指します」とあります。地域は自治体の集合体です。まずは、一つひとつの自治体に対して、その自治体の特徴に沿った個別の支援と自治体相互の交流を大切にしていけばいいと思えます。	C	参考意見といたします。

38	<p>各施策の展開として40, 43, 46, 49, 52, 55頁に「市民」「地域・団体」「事業者・企業」「社協の支援策」が書かれております。たとえば、55頁の「市民」の役割として「道に迷っている人や街で困っている方へ声をかけましょう」とあります。ここまで具体的な行動に書き起こす必要があるのでしょうか？ここまで書かないと市民が動かないのでしょうか？これは、小学校（あるいは幼稚園・保育所）での集団生活で身に付けるものではないかと思えます。私が浦安市民だと仮定してこれを読んだら、少し嫌悪感すら感じます。昨今の学校境域にも様々な問題がありますが、学校教育を学校側だけに押し付けず、家庭・地域が支え合うことが大事だと思います。全国平均と比べ、まだ子供の数が多い地域ですから、子どものうちから、地域の中で生活しているということ、地域から働きかけることも必要ではないかと思えます。</p>	B	<p>市民、地域・団体、事業者・企業、社協それぞれが取り組みやすいよう具体的な役割表記をしています。また、地域共生社会の実現に向けた取組を進め、誰もが役割を持つ地域づくりの推進に努めます。</p>
39	<p>民生委員は児童委員を兼ね、支部社協や健全育成等もれなく続いてきます。忙しく限界と思えます。大きい団体にせず、自治会単位の小地域にすることを望みます。地区定例会の会場を予約することすら優先はありません。係が苦勞しています。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
40	<p>支部社協推進委員の名前だけで活動の機会のない方は外した方が良いのではないのでしょうか。</p>	C	<p>参考意見といたします。</p>
41	<p>コンパクトシティの浦安で住民が十分福祉の恩恵を受けられるとともに、福祉支援に参加できるという両方向の活動とその取り組みに賛同します。ボランティア活動グループの更なる周知、多くの老若男女が気軽に参加しやすい施策を検討、実施してほしい、多数の住民が高い幸福度を感じられる福祉活動を切に希望します。市民一人一人が福祉活動に思いを寄せる、意識する、そんな計画実施を願います。</p>	B	<p>基本目標1「お互いを理解し支えあう」及び基本目標2「地域で丸ごとつながる」を意識した地域づくりを市民のみなさんとともに作り上げていきます。</p>